

大分市公共下水道 ウォーターPPP 導入検討に関する
サウンディング型市場調査
実施要領

大分市上下水道局
令和6年6月

1. 調査の目的

本市では、下水道施設の老朽化や人材不足などの課題に対応するため、下水道施設の維持管理における包括的民間委託を行っています。包括的民間委託とは、下水道施設の運転管理、保守点検、補修などの業務を一括して民間事業者に委託することで、効率的かつ効果的な維持管理を実現する手法です。しかしながら、これらの手法をもってなお、下水道事業をとりまく経営状況や執行体制は厳しさを増している状況にあります。このような状況下における下水道事業の持続可能性を高めるため、国はさらなる民間企業のノウハウや特長を生かした、PPP/PFI 手法の導入を推進しており、水道、下水道、工業用水道分野において、コンセッション方式に加え、同方式に準ずる効果が期待できる官民連携方式として、「管理・更新一体マネジメント方式」を含めた「ウォーターPPP」（以下、WPPP）の活用が新たに位置づけられました。

そこで、本市においても WPPP の導入検討にあたり、事業化に向けた基礎調査のひとつとして、民間企業の皆さまの参入意向や事業内容等に対する考えを把握したいと考えています。そのため、民間企業の皆さまとの「対話」を通じて、事業手法や規模などの事業内容の具体化や、事業者選定方法等の最適化を図ることを目的として「大分市 WPPP 導入検討に関するサウンディング型市場調査」（以下、本調査）を行うことといたしました。

本調査では、本市の公共下水道事業において WPPP を導入するにあたって、その手法や規模、事業者選定の内容などについて民間事業者からのフィードバックを求めます。本調査の結果は、今後の WPPP の導入可能性検討や下水処理場等の包括事業者選定や契約条件の決定に活用する予定です。

ぜひご協力くださいますよう、お願いいたします。

2. サウンディング調査の全体的な流れ

本調査は、アンケート型 1 回、現地説明会 1 回、ヒアリング（対話）型 1 回の計 3 回実施する予定です。ただし、アンケート結果などにより、調査回数や調査実施の有無等が変更となる可能性があります。

上述のとおり、全部で 3 回の調査を行います。すべての調査に参加いただく必要はありません。全 3 回の調査のうち、「アンケート調査（第 1 回調査）のみ参加」、「アンケート調査（第 1 回調査）とヒアリング調査（第 3 回調査）に参加」、「現地説明会（第 2 回調査）とヒアリング調査（第 3 回調査）に参加」、「すべての調査に参加」など、複数回の自由な参加が可能です。

なお、紙資料の配布は行いません。

3. 対象施設の概要

対象施設の概要は以下のとおりです。(令和4年度末時点)

(1) 水資源再生センター(下水処理場) 5か所

施設名	供用開始	処理能力	処理区
弁天水資源再生センター 弁天四丁目1番1号 ○敷地面積 61,727㎡	昭和52年10月	57,468㎡/日 ○処理方式 標準活性汚泥法 ○放流先 大分川	中央処理区 ○処理人口 104,204人 ○処理面積 1,549ha
宮崎水資源再生センター 大字宮崎35番地 ○敷地面積 34,810㎡	昭和48年12月	45,120㎡/日 ○処理方式 標準活性汚泥法 ○放流先 大分川	植田処理区 ○処理人口 65,166人 ○処理面積 1,447ha
原川水資源再生センター 向原沖3丁目1番31号 ○敷地面積 34,092㎡	昭和44年9月	46,964㎡/日 ○処理方式 酸素活性汚泥法 ○放流先 原川	東部処理区 ○処理人口 92,489人 ○処理面積 1,579ha
大在水資源再生センター 大字志村2500番地の1 ○敷地面積 52,498㎡	平成2年4月	15,354㎡/日 ○処理方式 標準活性汚泥法 ○放流先 大野川	大在处理区 ○処理人口 35,760人 ○処理面積 862ha
松岡水資源再生センター 大字松岡1878番地の1 ○敷地面積 18,402㎡	平成4年4月	13,938㎡/日 ○処理方式 標準活性汚泥法 ○放流先 大野川	南部処理区 ○処理人口 26,436人 ○処理面積 576ha

(2) 汚水中継ポンプ場 6か所

施設名	供用開始	揚水能力	処理区
小野鶴汚水中継ポンプ場 大字小野鶴780番地の2 ○敷地面積 2,078㎡	昭和50年10月	9.0㎡/分	植田処理区
小中島汚水中継ポンプ場 大字家島1090番地の5 ○敷地面積 1,068㎡	平成2年4月	10.6㎡/分	大在处理区
判田汚水中継ポンプ場 大字下判田1940番地の4 ○敷地面積 882㎡	平成4年4月	7.5㎡/分	南部処理区
南部汚水中継ポンプ場 大字大分4973番地の1 ○敷地面積 4,162㎡	平成12年4月	13.6㎡/分	中央処理区
高田汚水中継ポンプ場 大字関園120番地の2 ○敷地面積 477㎡	平成19年4月	2.1㎡/分	大在处理区
戸次汚水中継ポンプ場 大字下戸次4789番地の1 ○敷地面積 1,035㎡	平成19年4月	2.5㎡/分	南部処理区

(3) 雨水排水ポンプ場 8 か所

施 設 名	供 用 開 始	排 水 能 力	処 理 区
弁天雨水排水ポンプ場 弁天四丁目1番1号 (弁天水資源再生センター内) ○敷地面積 61,727㎡	昭和54年10月	7.6㎡／秒	中部排水区
津留雨水排水ポンプ場 西新地1丁目198番地の2 ○敷地面積 4,333㎡	平成11年4月	17.0㎡／秒	津留排水区
堂園雨水排水ポンプ場 大字関園256番地の3 ○敷地面積 1,323㎡	平成17年5月	9.1㎡／秒	高田排水区
関門雨水排水ポンプ場 大分市大字関園533番地の1 ○敷地面積 1,277㎡	平成17年6月	7.6㎡／秒	高田排水区
元町雨水排水ポンプ場 大字大分3978番地の1 ○敷地面積 7,627㎡	平成19年4月	19.7㎡／秒	中部排水区
皆春雨水排水ポンプ場 大字乙津28番地の1 ○敷地面積 3,977㎡	平成24年6月	26.1㎡／秒	乙津排水区
花園雨水排水ポンプ場(第1期) 大字古国府字上河原 ○敷地面積 —	平成21年6月	2.0㎡／秒	南部排水区
片島雨水排水ポンプ場 大字片島字尻込 ○敷地面積 4,930㎡	令和5年3月	18.0㎡／秒	滝尾排水区

(4) 災害対策ポンプ施設 4 か所

施 設 名	供 用 開 始	排 水 能 力
光吉災害対策ポンプ施設	平成18年6月	1.0㎡／秒
若宮災害対策ポンプ施設	平成18年6月 (第1期) 平成26年4月 (第2期)	1.0㎡／秒 1.0㎡／秒
萩原災害対策ポンプ施設	平成19年6月	1.0㎡／秒
光永災害対策ポンプ施設	昭和60年4月	1.5㎡／秒

(5) 汚水管渠

処理区名	中央処理区	植田処理区	東部処理区	大在処理区	南部処理区
処理場名	弁天水資源 再生センター	宮崎水資源 再生センター	原川水資源 再生センター	大在水資源 再生センター	松岡水資源 再生センター
幹線(km)	36.3	30.6	40.8	36.6	15.5
枝線(km)	313.7	300.8	341.2	175.1	109.2

※ 本管渠延長は処理区ごとの概算数量であり、各種統計数値と異なります。
あくまで、本調査に回答するための参考数値としてお考え下さい。

4. これまでの包括業務委託の状況

本市におけるこれまでの包括業務委託の状況は以下のとおりです。

委託期間	施設名	受託者	委託料 (単位：百万円)	業務範囲
第Ⅰ期 H14～H15 試行実施 (2年)	弁天	㈱九州設備公社	661.79	レベル2 ○施設の運転操作・監視、保守点検、水質分析 ●施設・物品管理（電気、ガス、水道、薬品等の 調達・管理） ●修繕（補機など小規模設備の修理）
	宮崎	㈱九州設備公社	477.75	
	原川	昭和環境システム㈱	474.21	
	大在	㈱サングリーン	253.08	
	松岡	㈱ナナモリ	222.83	
	計		2,089.66	
第Ⅱ期 H16～H17 試行実施 (2年)	弁天	㈱九州設備公社	600.6	同 上
	宮崎	㈱九州設備公社	511.35	
	原川	昭和環境システム㈱	473.55	
	大在	㈱サングリーン	280.35	
	松岡	㈱ナナモリ	226.8	
	計		2,092.65	
第Ⅲ期 H18～H20 本格実施 (3年)	弁天	㈱九州設備公社	915.09	以下を新たに含めた ●保安協会に委託していた自家用電気工作物の保守 を業務範囲に含める ●臭気測定業務の明記 ●性能未達成時（遵守基準を満たせなかった場合） の罰則（違約金）を設定
	宮崎	㈱九州設備公社	790.12	
	原川	昭和環境システム㈱	657.84	
	大在	㈱サングリーン	430.66	
	松岡	㈱ナナモリ	370.69	
	計		3,164.40	
第Ⅳ期 H21～H25 (5年)	弁天	キューセツＡＱＵＡ㈱ ※	1,595.86	同 上
	宮崎	キューセツＡＱＵＡ㈱ ※	1,154.83	
	原川	昭和環境システム㈱	1,152.39	
	大在	㈱サングリーン	732.84	
	松岡	㈱ナナモリ	677.33	
	計		5,313.25	
第Ⅴ期 H26～H30 (5年)	弁天	キューセツＡＱＵＡ㈱	1,856.02	レベル2.5 以下を新たに含めた ●一定範囲の補修（主要機器の維持管理など）
	宮崎	キューセツＡＱＵＡ㈱	1,259.50	
	原川	ヴェオリア・ジェネツ㈱	1,363.62	
	大在	㈱サングリーン	854.12	
	松岡	㈱ナナモリ	756.76	
	計		6,090.02	
第Ⅵ期 H31～R3 (3年)	弁天	キューセツＡＱＵＡ㈱	1,246.13	同 上
	宮崎	キューセツＡＱＵＡ㈱	851.00	
	原川	ヴェオリア・ジェネツ㈱	871.85	
	大在	㈱サングリーン	563.69	
	松岡	㈱ナナモリ	520.92	
	計		4,053.59	
第Ⅶ期 R4～R8 (5年)	弁天	キューセツＡＱＵＡ㈱	2,268.56	同 上
	宮崎	キューセツＡＱＵＡ㈱	1,632.15	
	原川	ヴェオリア・ジェネツ㈱	1,599.15	
	大在	ヴェオリア・ジェネツ㈱	1118.87	
	松岡	㈱ナナモリ	930.82	
	計		7,549.55	

(注) ●は、過去の業務委託から包括業務委託に移行後、新たに追加されたもの

※1 H25.7『㈱九州設備公社』が『キューセツＡＱＵＡ㈱』に商号変更

※2 H28.4.1付『ヴェオリア・ジェネツ㈱』が『昭和環境システム㈱』を合併

※2 R4.7.1付『ヴェオリア・ジェネツ㈱』が『㈱サングリーン』から事業を継承

5. スケジュール

本調査のスケジュールについては、以下のとおりです。ただし、第2回目以降の調査については、想定時期を記載しております。詳細な日付については、個別に公表される実施要領をご確認ください。

・本調査実施要領の公表

本調査実施要領の公表	令和6年6月17日
本調査に関する質問期間	令和6年6月17日～6月28日

・第1回サウンディング調査（アンケート調査）

アンケート調査実施要領の公表	令和6年6月17日
アンケート調査に関する質問期間	令和6年6月17日～7月5日
アンケート提出期限	令和6年7月19日 17時00分
アンケート結果概要の公表	令和6年7月下旬

・第2回サウンディング調査（現地説明会）

現地説明会実施要領の公表	令和6年8月上旬
現地説明会に関する質問期間	令和6年8月上旬～8月中旬
現地説明会の参加申込期限	令和6年8月中旬
現地説明会実施日時及び場所の連絡	令和6年8月下旬
現地見学会の開催	令和6年8月下旬～9月上旬
現地見学会結果概要の公表	令和6年9月中旬

・第3回サウンディング調査（ヒアリング（対話）調査）

ヒアリング実施要領の公表	令和6年9月上旬
ヒアリングに関する質問期間	令和6年9月上旬～9月中旬
ヒアリングの参加申込期限	令和6年9月下旬
ヒアリング実施日時及び場所の連絡	令和6年10月上旬
ヒアリングの開催	令和6年10月下旬～11月下旬
ヒアリング結果概要の公表	令和6年12月中旬

※第2回調査（現地説明会）以降のスケジュールは本要領公表時点での想定のため、変更となる可能性があります。

※第3回調査（ヒアリング調査）は対面とwebの選択式を予定しています。

6. 調査対象者

大分市の公共下水道における WPPP、包括業務委託、官民連携事業に関心のある法人またはグループとします。

ただし、以下のいずれかに該当する場合を除きます。

- ① 無差別大量殺人行為を行った団体の規則に関する法律（平成 11 年 法律第 147 号）第 8 条第 2 項第 1 号の処分を受けている団体若しくはその代表者、主宰者その他構成員又は当該構成員を含む団体
- ② 大分市暴力団排除条例（平成 23 年 9 月 28 日大分県条例第 19 号）第 2 条第 1 号及び第 2 号に該当する者
- ③ 大分県暴力団排除条例（平成 22 年 9 月 27 日大分県条例第 33 号）第 2 条第 1 号から第 3 号に該当する者、また、第 15 条第 1 項から第 3 項に違反している事実がある者

7. 本調査に関する質問

本調査に関する質問がある場合は、MS-Word または MS-Excel 形式にて質問内容を作成し（様式自由）、下記の提出先に電子メールにてご提出ください。

①質問受付期間

令和 6 年 6 月 17 日（月）～ 7 月 5 日（金） 午後 5 時 15 分まで

②提出先

「10. 参加申込・その他連絡先」の E-mail のとおり。

③質問に対する回答について

質問に対する回答は、電子メールにより個別に回答させていただきます。
なお、回答にあたっては、事前に事業者にも内容の確認を行うことがあるほか、すべての質問に対して回答を保証するものではありません。また、質問内容とその回答についての公表予定はありません。

8. 留意事項

（1）各回のサウンディング調査参加の取扱い

- ・各回のサウンディング調査への参加実績は、今後予定している事業者応募要件やプロポーザルの点数に影響しません。

(2) 本サウンディング調査実施結果の公表について

- ・各回のサウンディング調査実施結果については、概要をホームページ等で公表します。
- ・公表にあたっては、調査対象者の氏名、企業名等の特定がなされない形で公表します。また、企業ノウハウに係る内容は公表しません。ただし、「大分市情報公開条例」等の関連規定に基づき、情報公開の対象になる場合はその限りではありません。
- ・公表に当たっては、事前に各参加者へ確認を行う場合があります。
- ・調査内容については、本市上下水道局 WPPP、官民連携事業の実施に向けた検討のみに使用します。

(3) 本サウンディング調査の参加に関する費用

- ・本サウンディング調査における交通費や文通費、資料作成に要する費用等については、全額参加者の負担となります。

(4) 本サウンディング調査への参加エントリーについて

- ・全3回のサウンディング調査への参加エントリーについては、別途公表される実施要領をご確認ください。

(5) 事業者公募について

- ・本調査を実施後、その内容を精査し、今後検討する際の参考としますが、事業者公募の実施を保証するものではありません。
- ・本調査でいただいた意見や提案は、今後、事業実施の際の参考といたしますが、事業者公募や事業内容が必ずしも反映されるものではありません。
- ・本調査でいただいた意見や提案を事業者公募の際に履行していただく義務はありません。

9. 本サウンディング調査における連絡先

担 当 : 大分市上下水道局 経営企画課 下水道計画担当班

住 所 : 〒870-0045 大分県大分市城崎町1丁目5番20号

電 話 : 097-538-2423

E-mail : sk-jigyo@city.oita.oita.jp

- ・電話での受付時間は土曜、日曜、祝日を除く午前8時30分から、午後5時15分までとします。

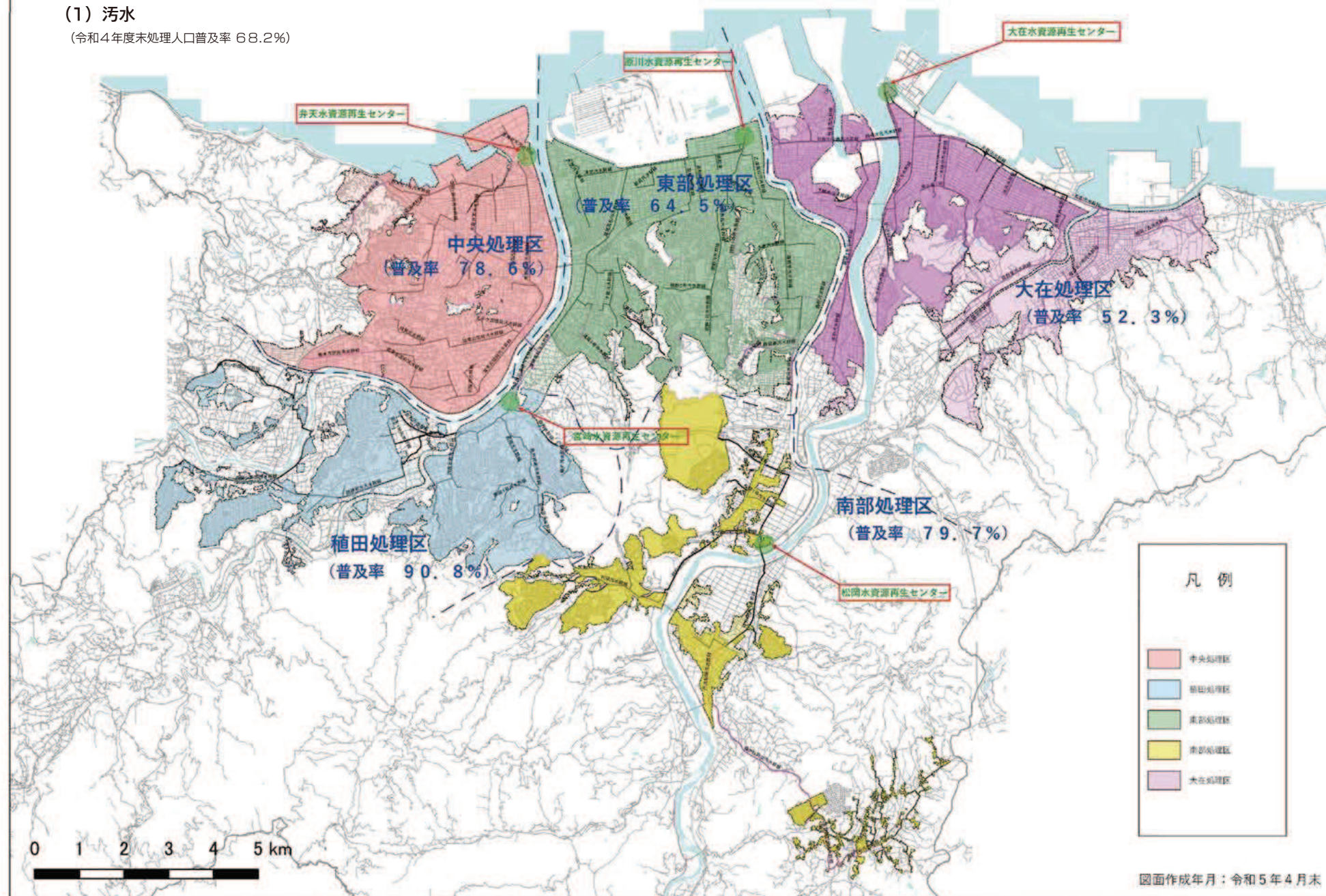
10. 別紙・参考資料

- ① 大分市公共下水道施設概要図（汚水）（別紙１）
- ② 大分市公共下水道施設概要図（雨水）（別紙２）
- ③ 大分市上下水道事業年報
(<https://www.city.oita.oita.jp/o223/kurashi/suidogesuido/gesuidounenpou.html>)
- ④ 大分市上下水道経営ビジョン
(<https://www.city.oita.oita.jp/o223/kurashi/suidogesuido/20190513keieisennryakunosakuteiyosann.html>)
- ⑤ おおいたマップ（管渠布設情報）
(<https://www2.wagmap.jp/oitacity/Portal>)
- ⑥ ウォーターPPP の概要（内閣府）
(https://www8.cao.go.jp/pfi/actionplan/pdf/water_gaiyou.pdf)
- ⑦ 官民連携（PPP/PFI）の活用（国土交通省：ウォーターPPP ガイドライン等）
(https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000585.html)

大分市公共下水道施設概要図

(1) 汚水

(令和4年度末処理人口普及率 68.2%)



大分市公共下水道施設概要図 (2)雨水



元町雨水排水ポンプ場
供用開始：H19.4
排水能力：19.7m³/秒

弁天雨水排水ポンプ場
供用開始：S54.10
排水能力：7.6m³/秒

津留雨水排水ポンプ場
供用開始：H11.4
排水能力：17.0m³/秒

萩原災害対策ポンプ施設
供用開始：H19.6
排水能力：1.0m³/秒

皆春雨水排水ポンプ場
供用開始：H24.6
排水能力：26.1m³/秒

片島雨水排水ポンプ場
供用開始：R5.3
排水能力：18.0m³/秒

津守災害対策ポンプ施設
供用開始：H24.4
排水能力：1.0m³/秒
※土木建築部管理

花園雨水排水ポンプ場
供用開始：H21.6
排水能力：2.0m³/秒

光吉災害対策ポンプ施設
供用開始：H18.6
排水能力：1.0m³/秒

光永災害対策ポンプ施設
供用開始：S60.4
排水能力：1.5m³/秒

堂園雨水排水ポンプ場
供用開始：H17.5
排水能力：9.1m³/秒

若宮災害対策ポンプ施設
供用開始：H18.6、H26.4
排水能力：1.0m³/秒×2(移設予定)

関門雨水排水ポンプ場
供用開始：H17.6
排水能力：7.6m³/秒

常行災害対策ポンプ施設
供用開始：H19.7
排水能力：1.0m³/秒
※土木建築部管理